

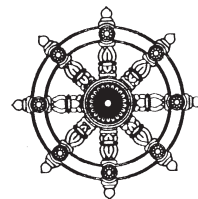
有縁の皆さんでお読み下さい

自分の目に見えている世界だけで生きるのは、もうやめませんか。

お念仏の 家族になろう

毎月 25 日発行
お寺のかわら版
じゅんしょうじほう
純正寺報

しょう しき しょう こう
青色青光



No.308

発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

1月1日(土・祝)

午前10時から11時まで

1月16日(日)

午前10時から12時まで

法話 勤行

『正信偈和讃』(行譜)

「新しい歳を
お念仏の中で」

元旦会

法話 勤行

『宗祖讃仰作法』

「親鸞聖人の
生き様に学ぶ」

御正忌

1月25日(火) こんき常例布教

10:00~12:00.13:30~15:30

法話：藤岡 俊彦 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

阿弥陀様のお慈悲はあたたかい

「仏の顔は何度でも」

見えてきた不寛容

今年もいよいよあと数日を残すばかりとなりました。皆さんは、どのような一年を過ごされましたか。と言いましても、多くの方が今年も「新型コロナウイルス」に振り回されたとお感じのことでしょう。二年連続のコロナ禍に、ほとほとくたびれ果てておられる方も少なくないのではないのでしょうか。

確かに、百年に一度の世界の流行がまだまだ収まらないこの状況は、私たちに多くの「不利益」をもたらしています。経済的困窮は

もちろんのこと、医療環境のひっ迫や教育環境の停滞など、その不利益は数えだしたらきりがありません。そして、このウイルスは私たちの人として生きる上で「愚かさ」もあぶり出しました。

それは、自分とは違う他人を認めない。異質な他人を攻撃する。他人の失敗を許さない。つまり、自分以外の人に対する著しい不寛容さです。

失敗を許さない

まず、コロナウイルスに感染した人に対する、感染していない人からの執拗な

誹謗中傷です。例えば、近所で他人が感染したことを知ると、感染されたご本人やそのご家族に対して、病院での治療が終わって退院される際に、「帰ってくるな」と帰宅を妨げたり、帰宅した人には「外出するな」と行動を妨げたり、ご家族に対して「仕事に行くな」とか「学校に行くな」というような、執拗な攻撃をします。その結果、せっかく感染症が治っても、人の誹謗中傷の刃物で心を傷つけられ、ひどい時には命さえ奪われかねません。

また、電車の中で咳払いをしただけで、周りから「じろっ」とにらまれたり、マスクをしていない人やワク

チンを接種していない人に対しても、理由を尋ねることのないまま阻害をしたり差別をしたりします。

このコロナ禍においても、純正寺ではご法座を中止することなく続けてきました。なぜならば、このような心が疲弊する状況であるからこそ、仏法を聞いて心に力をつけたかったからです。しかし、周りからは「もし、感染者が出たらどうするの。そうになったら、お寺はもうおしまいやで」というご意見もいただきました。失敗は許されないと云わんばかりです。

このように、そうなったことに本人の責任がないことでも、自分と違うからという理由で認めないという

ことが多くなりました。それが、何かしら本人に原因があつての失敗だったら、その人は生きている価値はないと言わんばかりの攻撃を受けることも珍しくありません。だから、たった一度の失敗で「もう私の人生はこれで終わった」などと悲観する人が増えるのでしよう。

「仏の顔は何度でも」

毎年、十二月に発表される、公益財団法人仏教伝道協会主催の「輝け！お寺の掲示板大賞」。今年の大賞に選ばれた掲示板の法語は「仏の顔は何度でも」でした。よく似たことわざに「仏の顔も三度」というのがあります。「どのような温厚

な人でも、無礼を繰り返せば怒る」という意味です。

しかし、阿弥陀様はお覺りを開かれた仏です。ですから、どれだけ「阿弥陀様なんているはずない、浄土なんてあるはずない。そんなもの信じるものか」と背いても「その様な者は浄土には生まれさせられない」とはおおっしゃいません。いや、逆に背けば背くほど逃げれば逃げるほど「あなたのことは絶対離さない」とどこまでも追いかけて抱きしめてくださるのです。これを「大慈悲」と言います。この大慈悲こそが「仏の顔は何度でも」です。

だから、失敗する人に対して「もうあなたはおしまいです」なんておっしゃる

ことはありません。阿弥陀様の慈悲は、失敗を繰り返してしか生きていけない私であることをすで見抜かれていて、「南無阿弥陀仏」と私にはたらいで、常にその失敗を生きる糧に転じ続けてくださっているのです。この阿弥陀様の慈悲に触れたなら、このギスギスしたコロナ禍にあつても心豊かに温かく生きていけるのではないのでしょうか。

大慈悲のあたたかさ

コロナ禍が続く、気持ちが悪れているからか、とげとげしい言葉を聞くことが多くなったような気がします。先日、街中で知り合

でもご相談くださいね」と言う時、「いえ、私が死んだ時だけで結構ですわ」と吐き捨てるように言つて立ち去られました。よほど、思うようにならない毎日を暮らされているのだらうなと心配になりました。同時に、その辛さに寄り添えていない私自身の不甲斐なさに、申し訳なく思いました。

でも、そんな不甲斐ない私を見抜いて「南無阿弥陀仏」とはたらいでくださる阿弥陀様の慈悲の中で、諦めずに関わり続けていこうと思ひました。「仏の顔は何度でも」、愚かな私を決して見捨てない、阿弥陀様のあたたかい慈悲に包まれて、失敗に寛容な人間関係を取り戻すような来年にしたいものです。



純正寺1月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



一年の計は・・・元旦会

1日(土・祝) 10:00~11:00

年齢性別は問いません

コロナ禍の中でのピンチは、新しい自分に変化するビッグチャンス。新年最初のお参りで、強く柔らか生きる決意を共に。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

8日(土)・29日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをした後、住職が仏典童話の読み聞かせをします。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

10日(祝)・30日(日)

15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

11日(火)・18日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

13日(木)・27日(木)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

Covid-19の感染対策には怠りなく、子どもも大人も楽しく学んで、楽しく美味しいご飯いただきます。

宗祖の祥月命日「御正忌法要」

16日(日) 10:00~12:00

年齢性別は問いません

親鸞聖人祥月命日のご縁。『宗祖讃仰作法』のおつとめの後は、住職の法話「親鸞聖人の生きざまに学ぶ」です。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

16日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

大慈悲に如何に生きるか。今月は、参加者からの問題提起からの自由テーマでの話し合い。

法義示談「月例法話会」

19日(水)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

生活の中にある何気ない出来事や疑問を手がかりに、仏法に問い・聞き・語ります。

こんき常例布教

25日(火)

10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えての朋友ができる法座です。ご法話は、愛荘町了教寺の藤岡俊彦師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:40

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVEで生配信もします。

お知らせ
一月から二月にかけて、道路工事による通行止めのため、純正寺周辺の道路の一方通行が一時解除になったり、本堂正面の道路が迂回路になったりします。ご来院の際には、充分にご注意ください。詳しくは、純正寺まで。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません

生きることが辛くなる悩みは、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は

090-7874-2849

相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp